

灯



九州では東日本大震災被災地の現況を実感しにくいのが、現地はまだ厳しい状況で大変な苦勞をされていると聞く。先般、ロータリークラブのご縁で「高田松原ものがたり」という冊子をまとめて購入し

松原
支援
本支

陸前高田市7万本の松原が津波で壊滅し、わずか一本だけ残ったことは有名

陸前高田の復興



草野 義輔

だ。この冊子は同市のロータリー

はいえ、これ以上の赤字国債は控えるべきだと考えた。震災直後は多くの人が増税してもまず復興支援を、というのが多数派だった。熱し

アンが数年前、先人が苦勞して育てた松原のことを小学生向けのの本にまとめ、それに震災後の壊滅した松原と生き残った一本松のことを加筆し、改訂版として発刊。冊子を購入すれば松原再生に少しだが支援になるとのこと。礼状には著者自身、市役

やすく冷めやすい日本人の特徴なのか、半年以上経過したいま、復興増税賛成は少数派という。私も増税は嫌いだ。しかし、今回の災害復興には長い年月が必要。無駄を削減しながら一定期間少しずつ税金で支援する方は至極当然と思っただが…。

(昭和学校園高校理事長・日田市)

所の屋上で辛うじて津波の難を逃れた経験をされ、今後の人生を松原の再生にかけたい、と息の長い支援を望んでおられた。野田政権になり、復興増税を資金源にとの方向が出された。私自身、震災直後、この未曾有の大災害には増税しかなく、わが国の財政状況から復興のためと